

何を使う

機器 iPad pro

ソフトウェア (アプリ)

Good Note5 (アプリ)



それをどう使う (それで何が出来る)

- 参考書、模試問題等を iPad に取り込む → Good Note5 内でタッチペンを使用してプリントを作成→作ったデータの格納 (フォルダ化)
- 様々な文献の問題を自由に編集し、オリジナルの問題が作成できる。
- iPhone、iPad に装備されている Air Drop を使用することで、Good Note5 で作成した教材を教員間ですぐに共有できる。
- 過去に作成したデータを残すことができ、データの整理がしやすく、仕事効率化につながる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 情報伝達型の授業を行い、生徒に問題の解答を板書させたり、口頭のみで発表させたりしていた。また、パソコンでのプリント作成には時間がかかっていた。

【 After 】 **メリット**

- 教員、生徒でデータを共有することで、ペーパーレス化につながる。
- iPad で自由に編集を行い、素早く、見やすい教材を作成することができる。
- タッチペンを用いて手書きで作成した解答を、授業時にプロジェクターで投影し、画面を拡大・縮小したり、色を使って視覚に訴えたりすることで、グラフや図形など、全領域の横断的な授業が展開できる。
- 図形やグラフ、直線などを手軽かつ正確に作成できるため、効率的に授業を行うことができる。また、生徒の興味・関心が高まるため、授業中の集中力を持続させることができる。

機器 (台数)	スマホ				タブレット		PC		その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働	
					○				プロジェクター						
授業実施時に必要な環境→											インターネット接続	○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等						全ての教科等				
		○	○	△	活用が想定される場面						授業時、課題作成				